

自宅が資格学校（1級建築士）

【会員限定対応】

1. 自宅を資格学校にするための方法

自宅に居ながら「資格学校」に通学したような状況をHPで提供する（1級建築士の学科と製図のみ）
そのため、2018年にHP容量を5倍とし、2018年は(1)と(2)を公開し、2019年は(3)を公開予定である。

- (1) 製図: 予測課題の添削とランク評価
- (2) 学科: 模擬試験の正解分析と個別質疑応答
- (3) 学科&製図: パワーポイント音声付き解説（その後、ライブ講座）に対応させるため、2017年12月に現状のHP容量を5倍に増設する。

(1) 製図: 予測課題の添削とランク評価

- ・自宅が資格学校の製図講座は、各自が作図&記述した予測課題について「添削」をするものである。
- ・具体的には次の通り。
 - ① HP上で「**予測課題** (3パターン)」を公開する。
 - ② その予測課題を各自が**自宅**で**6時間半**かけて作図&記述する。
 - ③ その内容を、研究会へメール添付する（メールでの**個別質問**も可）。
 - ④ その内容を、こちらで**添削**（ランク評価）してメール返信する。

- ・研究会による添削やランク評価は、下記のようなものとなる。
- ・資格学校では、多くの受験者が同時に学習しているので、作図&記述の終了後の添削は、概ね10分~30分程度である。
- ・それに比較して、研究会の添削は、1時間以上かけて詳細にチェックし、採点一覧表で減点箇所が分かるように連絡する。
- ・本内容は、個人対応になりチェックに時間を要するので、1予測課題の対応費3,000円（2018年製図講座から開始）である。
- ・なおHP内で、予測課題の解答例を掲載するので、この個人対応を受けなくても会員は、無料で製図を学習することもできる。

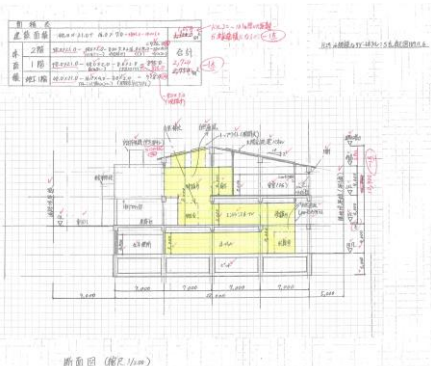


図1 図面の添削例

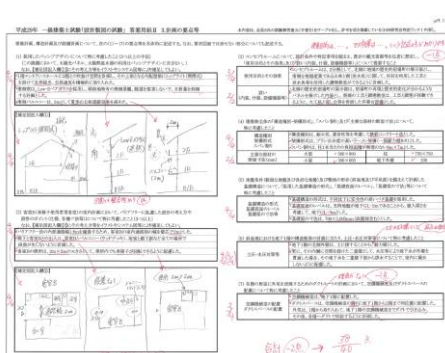


図2 記述の添削例

課題名	受験者名	採点者	採点	減点理由
課題1	田中 太郎	山田 花子	85	なし
	佐藤 一郎	山田 花子	75	線画の粗さ
	鈴木 健一	山田 花子	90	なし
	高橋 誠二	山田 花子	65	寸法線の付け方
	渡辺 隆三	山田 花子	80	なし
	中村 誠四	山田 花子	70	文字の大きさ
	小林 誠五	山田 花子	88	なし
	高木 誠六	山田 花子	78	線画の粗さ
	山本 誠七	山田 花子	82	なし
	佐々木 誠八	山田 花子	72	寸法線の付け方
課題2	田中 太郎	山田 花子	80	なし
	佐藤 一郎	山田 花子	70	線画の粗さ
	鈴木 健一	山田 花子	85	なし
	高橋 誠二	山田 花子	60	寸法線の付け方
	渡辺 隆三	山田 花子	75	なし
	中村 誠四	山田 花子	65	文字の大きさ
	小林 誠五	山田 花子	82	なし
	高木 誠六	山田 花子	72	線画の粗さ
	山本 誠七	山田 花子	78	なし
	佐々木 誠八	山田 花子	68	寸法線の付け方

図3 採点一覧表

(2) 学科: 模擬試験の正解分析と個別質疑応答

- ・資格学校の学科講座では、HP上の「模擬試験」に対して、結果分析表(グラフ)を作成して各自の実力が把握できるものである。
- ・これを自宅で見ると、次のことを実施する(現在検討中で2018年5月から開始)。
- ① HP上で「**模擬試験125問**」を公開し、各自が自宅時間で時間を決めて解答する（I II 2時間、III 1時間45分、IV V 2時間45分）。
- ② その内容を、研究会へメール添付する（メールでの**個別質問**も可）。
- ③ その内容を、こちらで採点し、**分析表**(グラフ)により欠点が分かるようにしてメール返信する。

- ・模擬試験は、難易度別(容易・難解)の問題を分散させて出題し分析する。
- ・その結果、分析表から各自の学科別実力、および難易度別の理解度などが分かる。
- ・資格学校の模擬試験は、過去問の難易度分散試験であり、模擬100点超えで合格ラインの目安としていると推定する。
- ・従って、当研究会の模擬試験も同様に、100点超えを一つの目安にできるような問題とする。
- ・本内容は、個別対等になり分析一覧表作成に時間を要することから、1模擬試験の対応費2,000円（2018年5月から開始）。
- ・なお、HPで模擬試験125問の解答も掲載するので、この個人対応を受けなくても会員は、無料で模擬学習することもできる。

(3) 学科&製図: 音声付き解説

- ・資格学校の最大のメリットは、ライブ講座である(最近では、講座内容のDVD視聴もある)。
- ・これを自宅で見ると、HPで見られるようにすれば良い。
- ・この取り組みは、2019年から開始できるように進める。
- ・第一ステップとして「**パワーポイントによる音声付き解説**」から開始する予定。
- ・最終的には映像によるライブ講座が見れるHPとしたい。
- ・ただし、ここまでのサービスを組み込むには、かなりの努力を要するので、少なくとも実行委員1名は、サラリーマンをやめて専属になる必要があり、その点も含めより良いHPになるよう検討していく。
- ・なお、2019年から開始する「音声付解説」は無料対応の予定である(会員講座内)。